

留学の道を選んだから

文榕铎

皆さんが日本に留学する理由はそれぞれあると思います。私は高校卒業後中国の一本大学に合格して、一度入学しました。けれども、一本大学を卒業しても、将来は絶対に良い就職先を見つけられるとは限らないので、半年で大学を辞めました。「若いうちに、海外留学に行って、外の世界を体験したらどうですか？」と母親からすすめられました。しかし、国内の知り合いや家族も、大学入学統一試験の成績がよくない子供だけが留学するという思い込みがあって、周りに反対される中で留学の手続きを始めました。亜細亜友之会外語学院の校長先生と石川先生のおかげで、日本に来ることができました。そこで、先生方に心から感謝いたします。日本語学校の二年間の学習生活で、出席率が100%を維持でき、日本留学試験成績で高得点を得たことによって、文部科学省から総額57万6千円の奨学金を貰えました。本当にあり難く、助かります。そして、担任の小野先生の指導のおかげで、明治大学の情報コミュニケーション学部合格しました。

二年前、多くの留学生と同じ新鮮な気持ちで日本の生活が始まりました。国、家族、友だちと離れ、新たな環境に慣れることは簡単ではありませんでした。ここで初めてアルバイトをしてお金を稼ぎ、初めて外国人と友達になり、初めて外国での旅行など、「十人十色」様々な環境に育った人と会って、違う文化や習慣を学ぶことができ、そして、集団生活の中で、自分の短気だった性格も直りました。外国の土地に立つと、本当に視野が広がり、今まで自分が知っていることや知らないことを見直すことができると思います。日本に留学しようと思っているあなたも、日本に興味を持っているあなたも、もうすぐ入学するあなたにも、ぜひ自分で体験して戴きたいと思います。

少しでも皆さんの力になりたいので、ここで自分の経験を紹介させていただきたいと思います。私のような家と同様にあまりお金がないのに留学したいという人も少なくないと思います。家族の負担をできるだけ減らしたくて、一生懸命アルバイトをして、だんだん成績が悪くなって、最後は良い学校に入れず、学費の高いところに入るしかなく、結局親の負担が大きくなる一方です。日本語学校にいる間では、日常的な生活費を稼ぐ程度のバイトだけをすればいいと思います。なぜかという、自分の理想の大学に入るために、もっと大切なTOEIC、TOEFLや留学試験の受験が必要であり、留学試験の成績によって文部科学省の奨学金をもらうチャンスも得られるからです。

また、亜細亜が他の日本語学校と違うところは、出席に対する厳しい管理です。私はこの厳しい管理の下で皆勤ができましたので、皆さんも最後まで良い結果が出るように頑張り続けてください。大学進学準備に最も重要なことは、自分で先に進むことです。留学試験も大学の出願も、前持って準備したほうが良いと思います。自分でいろいろ調べたりして準備しないと、全てを担任の先生に任せることはできないと思います。

人生には様々な道があり、留学の道を選んだ以上、後悔しないように、先まで進まなければなりません。留学の道で、どんな困難に遭っても、自分で精一杯頑張っただけで難関を乗り越えてください。これができないと一人前に成長できるとは言えません。